



わくわく・ドキン!

31・3・1 No13 池内幼稚園

卒園・進級に向けて!



草木が芽吹く春3月がやってきました。年長の子も達は、卒園式(16日)、在園児は修了式(22日)に向けて着々と準備を進めています。心身共に成長期にある子どもにとっての1年は、大人とは比べものにならない程、密度の濃い1年です。様々な遊びや行事を通して、自然や人と触れ合い、多くの体験を積み重ねて日々成長してきました。

酷暑の中で、練習を積み重ねやり遂げた運動会。お家の人に観てもらおうと、一生懸命練習に励み見事に演じきった発表会。一つ一つの行事が子ども達の成長の大きな節目になっていることを実感します。

1年のまとめと次年度に向けての大切な準備期間となる3月を、私達職員も、子どもと手を携えて歩み、共に成長していきたいと願っています。ご支援・ご協力のほど、よろしくお願いたします。

サケの放流へ!

1月5日に「入園」したサケの卵も翌日には孵化を始め、2月初旬にお腹の袋(さいのう)も無くなり、身軽になって水槽の中を元気に泳ぎ回っています。毎朝、子ども達が水槽をのぞいては、「おなかの袋がなくなってる!」「えさをあげなあかん!」「えさ、あげてもいい?」と言ってきます。卵から稚魚になって元気に泳ぎ回る姿は、生命誕生の不思議と命の尊さを実感させてくれます。



今月に年長の子も達が、「池内川に帰って来いよ!」との願いを込めて、池内川に放流します。年長の子も達が卒園するのと時を同じくして、サケの赤ちゃんも大海へと旅立って行きます。



元気にたくましく育て!

3月・4月の主な行事予定

- 3/1(金) コロコロ広場(未就園児事業)
PTA本部引き継ぎ
- 7(木) 3月誕生会10:00
お別れ会(参観なし)
- 15(金) 午前中保育
(卒園式準備)
- 16(土) 早朝あり 延長なし
- 18(月) **卒園式(年長のみ参加)**
- 19(火) 年中以下通常保育・弁当持参
- 20(水) 早延長あり
- 22(金) **修了式** 午前中保育
早延長あり



31年度

- 4/6(土) 入園式
- 8(月) 始業式
- 9(火) 満3入園日



節分 豆まき!

2月4日(月)に、恒例の節分豆まきをしました。各クラスでは、鬼退治の準備も整い、豆や紙玉を用意して、今か今かと鬼を待ち構えていました。そこへ怖い形相の赤鬼と青鬼がやって来ました。子ども達の戦う意欲はどこへやら!鬼を一目見るなり、「こわい!」「助けて!」と泣き叫び、逃げ回っていました。助けを求めて先生の後に隠れたり、こわごわと豆や紙玉を投げつけたりする子もいました。子どもにとっては、貴重な「恐怖の体験」となりました。この強烈な体験が、時を経て「楽しい思い出」に変わること願っています。



「赤鬼さん」「青鬼さん」
また来年も来るかな・・・?

心ゆめへ わくわく「コーナー」

子どもの幸せを願って!

◇先月は、千葉の児童虐待事件が連日大きく取り上げられました。日本の児童虐待の件数は、年々増加傾向にあり、昨年度の全国児童相談所における児童虐待相談対応件数は、13万3778件で27年連続で増加し過去最高となりました。子どもの貧困と共に大きな社会問題となっています。児童憲章には、子どもを一人の独立した人格と捉えて、「すべての児童は、虐待・酷使、放任その他不当な扱いから守られる」とありますが、この条文が十分に生かされていないのが現状です。虐待件数を見ると、「親ならば子どもが可愛いはずなのに・・・」という思い込みは、当てはまらないことが分かります。



虐待をしてしまう親の心理として、「子どもは親の所有物」「親の言いつ事を聞いて当たり前」との考えが根底にあるのではないかと思います。また、別の側面として、仕事や日常生活の中で親自身が大きなストレスを抱え、そのはけ口としてDVや児童虐待をしてしまうと、担当したカウンセラーが語っていました。

一般的に、何かな事件が起こると、「親が悪い!」「児童相談所が悪い!」と、つい悪者探しをして結論づけようとしていますが、その原因には、様々な要素が複雑に絡み合った背景があると思います。被害者の救済はもちろんのこと、再発を防止するためには、制度の見直しや加害者の救済(ケア)も大切であると思います。

しかし、いかなる理由があれ、子どもの時に受けた心の傷は、トラウマ(心的外傷)として、その人の将来に大きな禍根を残します。「子どもは未来からの使者」と言われますが、一人一人の子もが自分の才能を遺憾なく発揮して、自分らしく幸せに生きることを強く願います。合わせて、大人には子ども達の権利が守られる社会を築いていく責任があります。

そのために、本園としても保護者や地域の皆様と協力して、子どもを取り巻く環境を少しでもより良いものにしていきたく願っています。

